

「無情と無意味を覆す方」  
(ヨハネの福音書2章1節～11節)

牧師：原 雅幸

## 序) 神のことばである聖書を学ぶとは

- ・聖書は人間の言語で書いてあるが、神のことばである。
- ➡このことばを心開いて学ぶ時、生きておられる神と出会うことができる。
- ➡永遠の神は、2000年前に人（イエス）となり歴史の中に現れた。



## 1) ぶどう酒のなくなった婚礼～無情な現実～

- ・当時の婚礼は結婚の誓い+7日間にわたる祝宴が行われた。
- ・ぶどう酒（ワイン）は常用され、水よりも頻りに飲まれた。
- ・婚礼においてぶどう酒がなくなることには、象徴的意味がある。
- ➡ぶどう酒がなくなるなら婚礼は大失敗に終わる。人生の無情の現実。
- ➡ぶどう酒は愛や喜びの象徴：人生という宴を豊かにするもの。しかしこれが消えてなくなることが現実に起こる。このままでは混乱と破滅。

## 2) 婚礼の危機を救うもの～祈りと信頼～

- ・イエスの母マリアの願い（助けを求めた）に対するイエスの対応は、つけんどんな印象。イエスは無情で無慈悲なのか？
- ➡イエスは危機の解決に無関心なのではなく、マリアの言いなりになることを拒んでいる。
- ➡神や神への祈りは、問題解決のための便利屋ではない。また、特別な存在を介さない祈りができないということでもない。
- ・マリアの態度は「あの方が言われることは、何でもしてください。」という姿勢。これが神の前に生きる人の正しいあり方。イエスへの信頼が現されている。



## 3) アメイジングストーリーは一見「無意味」な行動から

- ・石の水がめは、役割を終えて空っぽのまま放置されていた。無用のもの
- ・ぶどう酒が必要なのに、水を汲むことは人間の常識では無意味な作業
- ・無用なものに、無意味な作業を黙々と行った先に、神の奇跡が起こる。
- ➡私たちが神から離れると、無用さと無意味さが増していく。しかし神に立ち返るなら、すべてのものが輝きを取り戻す。

## 結) 無情と無意味が覆う世界で、あなたはどう生きていくのか。

- ・あなたのいのちを始めた方、今に至るまで生かしている神がおられる。
- ・この方が、あなたが永遠に生きるよう、十字架にかかってくださった。

名まえ( )

## ① 聖書が、「神のことば」と言われるのはどうしてですか。

- ( ) 神さまが書いたことばだから
- ( ) これを学ぶと、神さまのことがわかるから
- ( ) これを学ぶと、神さまと心の中で会えるから
- ( ) その他



## ② 学校生活で、なくなってしまうと困るものランキングをつくってみましょう。

- ( ) 消しゴム ( ) ともだち
- ( ) えんぴつ ( ) 先生のやさしさ
- ( ) 教科書 ( ) その他

## ③ 結婚のお祝いパーティで、ぶどう酒がなくなるのは、「なくなると困るものランキング」何位だと思いますか。

## ④ イエスさまは、マリアさんのお願い(お祈り)を、つっぱねたように見えます。それはどうしてでしたか。

- ( ) 母親だからって、言うことを聞くわけじゃないと教えたかった。
- ( ) ぶどう酒のことはどうでもよかった。
- ( ) 自分を信頼して、聞き従うことが大事だと、人々に教えたかった。

## ⑤ 神様から離れると、無意味なものが増えると聞いて、どう思いましたか。

～教会クイズ(教理問答)～

Q016 どうしたらイエスさまを信じることができますか。






A016 につながることで。

□ヒント□ マタイ 16:13-20、使徒 2:37-42、エペソ 1:20-23

みんなで一週間  
考えてみよう!

